

CNCP の使命：地方創生に貢献する

NPO 法人建設技術監査センター代表理事

土木学会フェロー 五艘 章



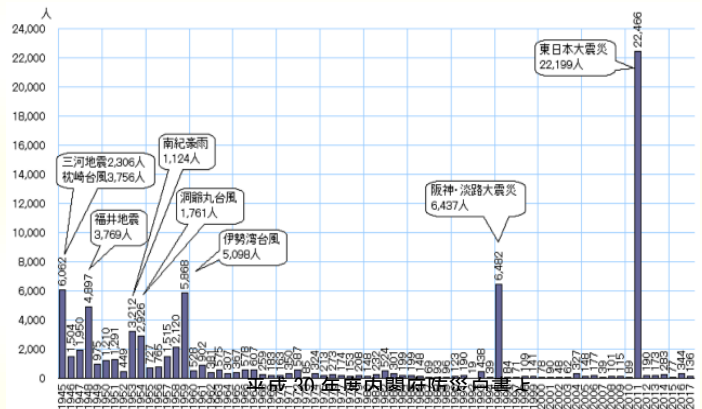
我が国の歴史には第二次世界大戦の戦没者 310 万人余（軍人 230 万人、市民 50 万人）と戦後の自然災害の犠牲者 72,000 人余が記録されている。平和を願い自然と闘う土木技術者として犠牲に成られた方々に心から哀悼の意を表したい。

組織はトップの影を映す。戦争や自然災害は全て国家のトップリーダーの責任である。

国民は近年の続発する巨大な天変地変に「日本沈没は絵空事ではない」、と不安感を抱いている。

自然災害から国民を守る土木学会と連携する組織 NPO 法人 CNCP の使命は真に重い。

このような視点に立って頼山陽 13 歳の「立志の詩」を想記し、CNCP の立志に触れたい。



十有三春秋 逝者已如水 天地無始終 人生有生死 安得類古人 千載列青史

13 歳にして想う 歳月は川の流るるの様に過ぎ去り 天地は永遠である 人は必ず死ぬ、ここに古の偉人に倣って 1000 年の歴史に名を連ねたい

土木学会創設 100 周年記念事業における CNCP (Civil NPO Collaboration Platform) の創設趣旨は、「全国の孤立無援の建設系 NPO 法人のネットワークを実現して情報交流、政策提言、調査研究、事業化、人材開発・教育等に取り組み、地方創生・活性化に貢献する」である。CNCP が立志を掲げて全国のシビル NPO 法人と共に『1000 年の歴史に CNCP の名を連ねる』事を期待したい。

当 NPO 法人は平成 17 年に千葉県技術士会と柏門技術士会を主力に設立し、教育的工事監査が評価されて、今は年間に 600 万円程の委託業務を受注しているが、いくつかの消滅可能性自治体への提言が議会で否決される貴重な経験を有している。

平成 26 年に現東京都市大学・皆川勝副学長ほか CNCP 設立メンバーが我が法人を訪ねてこられ、建設系 NPO 活動の現況と課題等について意見交換を行ったのを機に、その立志に共感して CNCP に入会した。平成 29 年に有岡正樹氏 (CNCP 常務理事) と中島善明氏 (日刊建設新聞社副社長) の当 NPO 法人への入会を得て、八千代市、夷隅町、茂原市、栄町、木更津市、横芝光町など千葉県房総地域の首長との懇談を実現した。懇談は土木学会と連携する CNCP の信頼感と日刊建設新聞の情報発信力が相まって実現したものである。今後とも CNCP と日刊建設新聞を「夢想剣」として千葉県内自治体の活性化に取り組み、併せて全国の建設系 NPO との協働を実現したい。

終わりに CNCP の会員はそれぞれが「国家と地方の活性化に貢献したい」と強く願っているが、設立後 4 年を経て未だ刮目して見るべき実績は報告されていない。このような状況下 8 月から動き出した CNCP 組織改革の結果、企画サービス部門内に設立された調査研修委員会のコアメンバーに五艘他が指名され、重責を痛感している。

我が国は議会制民主主義国家である。議員が地方活性化のキーマンである。議員との協働が地方活性化の新たな夢想剣に成るものと信じている。また青少年の立志に協力する事は最も重要な課題である。『議員と青少年を地方活性化に燃えさせる』ことが CNCP の使命と再認している。